



第154号
2024年1月1日
NTT労組退職者の会
香川県支部協議会
TEL 087-821-7222
FAX 087-802-5995
発行責任者 下河 進
編集責任者 石川正治
e-Mail フォトリス
H・P フォトリス
※両方のアドレスは、
紙外フッターに記載



結成50周年記念誌の表紙を飾った写真

タイトル:「生命力」 撮影/石川正治

謹賀新年

結成50周年をスナップに新たな飛翔を



香川県支部協議会
会長 下河 進

会員の皆様には新年を健康に迎えられることと拝察します。

昨年度は香川退職者の会結成50年の節目を全会員が共有し、改めて血の通った

運営の追求においてスタートする新年となりました。抜けて、詰めが甘くならないよう、政治の流れを羨ましく感じ、全世代が安心して暮らせる社会づくりが急務です。その最前提は会員の元気が第一です。

今年も退職者の会へのご協力をお願いするとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

次期・参議院選挙に向け始動

吉川さおり気持ち新たに



2024年、新たな年を迎えました。2006年7月末日にNTTを退職して以降、退職者の先輩の皆様には温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

2024年、新たな年を迎えました。2006年7月末日にNTTを退職して以降、退職者の先輩の皆様には温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

昨今、NTTを巡る話題が多いことから、2024年最初のご挨拶は情報通信に特化したと思います。私、吉川さおりは2007年7月の初当選以降、経済産業委員長の任にある間を除き、一貫して情報通信政策を所管し、NTTの監督とを何とか防いだ光の道構

想、公正競争の観点からもNTTから光の設備を切り離さないことが望ましいことでしたので、本当に大変でしたが自信を持って対応したことはじまり、東日本大震災発生後は、被災地の事業と雇用は表裏一体の関係にありますので、国民利用者の利便性に資する点を尊重しながら議論に携わっていきたくと考えています。

議論の行方は、先輩の皆様にも様々な影響する側面もありますので、NTTグループの職場で働いた後輩の一人としてしっかり取り組んでまいります。



11月17日 議院運営委員会では会派を代表して意見表明



11月27日 情報労連・NTT労組自治体議員団全国総会に出席

これまでの国政活動で取り組んできた情報通信以外の政策課題も含め、初心と感謝の気持ちを常に携え、生活者・勤労者・納税者の立場に立った政治の推進に向けて力を尽くしてまいります。今後ともよろしくお願いたします。

「D T 労組 退職者の会」 結成50周年 記念特集



あいさつする下河会長

「50周年記念行事の成功を懇親会は宮本・顧問から頼みました。①出席人数の多さをはじめ、②記念誌発行の努力と意義、③スライトを通じての運動の再確認、④60周年への展望などについて高い評価が述べられました。懇親会は宮本・顧問から頼みました。」

「50周年記念行事の成功を懇親会は宮本・顧問から頼みました。」

集会には千田建雄・事務局長の司会で始まり、下河会長の退職者の会の発足が自らの運動歴と重なることに触れつつ、要旨・別項のようなあいさつで来賓への謝

辞と共に参加者を鼓舞しました。あいさつに続いて宮本敏彦・顧問から「退職者の会

結成50周年記念
レセプション

総勢85人
60周年へ
「楽しく元気よく」

10月24日 12時～
マリンプラス・さぬき

結成から50周年を迎えた「N T T 労組退職者の会香川県支部協議会」は、10月24日、12時から高松市福岡町の「マリンプラス・さぬき」で「結成50周年記念レセプション」を開きました。参加者は、総勢85人となり、スライドで紹介した「結成当時の政治的・社会的背景」を共有したり、下河 進・会長の「これを契機に60周年へ楽しく、元気よく活動しよう」とのあいさつを受けて語り合うなど、連帯を固めよう意識ある集会になりました。

また、地区内の懇親も深まる

「がんばろう」「全電通の歌」はいつ聴いても歌つても奮起する。70年闘争を思い起こし、現・退共に現状打破に向け反響に転じた

「がんばろう」「全電通の歌」はいつ聴いても歌つても奮起する。70年闘争を思い起こし、現・退共に現状打破に向け反響に転じた

「がんばろう」「全電通の歌」はいつ聴いても歌つても奮起する。70年闘争を思い起こし、現・退共に現状打破に向け反響に転じた

「がんばろう」「全電通の歌」はいつ聴いても歌つても奮起する。70年闘争を思い起こし、現・退共に現状打破に向け反響に転じた

「がんばろう」「全電通の歌」はいつ聴いても歌つても奮起する。70年闘争を思い起こし、現・退共に現状打破に向け反響に転じた

「がんばろう」「全電通の歌」はいつ聴いても歌つても奮起する。70年闘争を思い起こし、現・退共に現状打破に向け反響に転じた

圧巻の「記念誌」に注目 投稿40篇、年史、資料など28頁に収録

議で仕上げただけに、編集小委員会のメンバーは、出来栄えに満足していません。それ以上に、レセプションの参加者は会場で受け取った遠端に「凄く」と感激して注目、投稿者の喜びの声も寄せられています。トータルとして、記念誌は「歴史の証言と記録」としての活用が期待されていると思います。(宮本敏彦・記)



全電通の歌を全員で合唱

「結成50周年記念誌」は、年輪を重ねた節目だけに、この間の出来事や組織を支えた会員の声を重視する編纂に努めましたが、その目的に沿った作品になっていません。具体的には、手記・随想が38人から、39編。訪料が3種類14頁。これらの作品は6月下旬から3カ月をかけて合同討

「結成50周年記念誌」は、年輪を重ねた節目だけに、この間の出来事や組織を支えた会員の声を重視する編纂に努めましたが、その目的に沿った作品になっていません。具体的には、手記・随想が38人から、39編。訪料が3種類14頁。これらの作品は6月下旬から3カ月をかけて合同討

「結成50周年記念誌」は、年輪を重ねた節目だけに、この間の出来事や組織を支えた会員の声を重視する編纂に努めましたが、その目的に沿った作品になっていません。具体的には、手記・随想が38人から、39編。訪料が3種類14頁。これらの作品は6月下旬から3カ月をかけて合同討



高松市
山口幸子さん
本を手こずりて本写しに終

下河 進・会長あいさつ (要旨)

リードと本文に掲載した下河進・会長のあいさつ



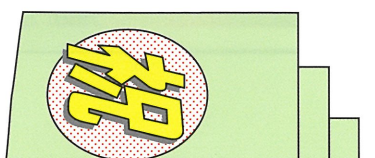
全電通

乾杯する宮本敏彦顧問



記念レセプションには、福家良一連合香川会長をはじめ、各界から16人の来賓が出席しました。あいさつでは、いずれも退職者の会の活動を評価するもので、全体合唱では「さすが全電

参加来賓
福家会長など16人
高い評価が共通



写真で見る50年

退職者の会の50年を主な写真で紹介します。紙幅の関係から結成前後のものを中心としますが結成以前、結成前後、結成後を写真の背面的色で識別することとします。結成以前 (緑) 結成前後 (赤) 結成以後 (青) とします。(久保池薫・収録)



電電公社の発足(1952年)



全電通の結成(1950年)



退職者の会結成(1973年)



勝利しダルの目入れをする久保等夫妻(1972年)



スト権奪還闘争(1975年)



狂乱インフレに対する生活防衛闘争(1973年)

結成は70年闘争の申し子

宮本顧問 スライド解説で熱弁

会長あいさつに続いて行われた、スライド「退職者の会50年の軌跡」は、結成前後を中心に説明されました。担当した宮本敏彦、半から72年にかけて、60年次別には、①60年代後安房廃棄・日中国交回復、②物価値上げ反沖繩返還、③生活危機突破の闘い、④74春闘のゼネストと未曾有の賃上げ、⑤地方自治の民主化と革新自治体首長の拡大と続いたことを時間に進めながら解説しました。

「今は70年闘争の申し子としての闘争力は影を潜めていた」と警鐘を鳴らすなど、20分にわたって、熱弁を奮いました。終了後の懇談で、は「70年代の闘いを思い起こして懐かしかった。事案の年月日や出てくる数値なども正確で感心した」と内容の評価する声が続きました。(宮本敏彦・記)

けました。懇親会は、テール内は自由にしつつも地区毎に席の場所を割り振っていただきました。



レセ

漱しました、私にとては宝物であり、毎朝、起きるとすぐ読むのが楽しみで日課になっています。

懐かしい、色々な人の声が入っています。作成に当たった人の努力に感謝します。



まんのお町
長谷川幸子さん



NTT労組としての第1回県支部大会(1998年)



民営化されNTTに(1985年)



民営化反対署名の山(1984年)



巨星=成田元委員長のお別れ会・会場(1979年)



退職者の会・一泊バスツアー(2015年)



香川開催の定期全国大会(2001年)



NTT労組退職者の会に変更(1999年)

本日午前9時30分か謝すると共に、過去の歴史に学び、未来につなげる営みを積み上げるために、51年目を力強くスタ

確認しました。

に、51年目を力強くスタ

振り返れば、1973

年(昭和48年)電電会館

で50名からスタートした

田巳年・元会長の欠席は

残念ですが、本日配布の

香川の退職者の会は、初

代の菅清一・会長から「50

50年間、歴代役員の方々に

と献身的な活動で、今日

の礎を築かれたことに感謝

謝します。



第25回総会の模様

NTT労組退職者の会・香川県支部協議会の第25回総会は、結成50周年を迎え、た節目の総会として、10月24日午前9時30分から、高松市のマリンパレスさぬきで代議員・来賓など71名で開催しました。

議長に鎌田賢二氏(高松)を選出し、議事が進められ、冒頭、下河進会長は「存在感は一応保った。51年に向けて決意を新たにしたい」とあいさつ。その後この一年間の物故者35名に対する慰問の挨拶が、原案の補強と地区協会の経験交流ができました。発言者と答弁要旨の主内容以下のとおりです。

結成50周年節目の総会開く

記念レセプションも盛大に

第25回総会

案、吉田勉監事の会計監査報告などについて8名から意見があり、討論の結果承認されました。(質疑・討論の様子は別項に記載) 議事すべてを終了し、記念レセプションに移りました。(久保池 薫・記)



総会議長
鎌田賢二氏

各地区協から補強意見

代議員など8人が発言

各種提案に対する質疑であるが、高知へのレクでは定員を上回った。サークル活動には高知のため参加者減の傾向がある。サークル活動に夜に行事から昼の行事に変化している。

川北昭子さん(高松)は「サークル活動の悩みなどを交流し、状況の共有化を促す」と発言。藤田豊氏(高松)は「役職名で『会計監査』は監事ではないのか。」と発言。

各地区協から補強意見

各種提案に対する質疑であるが、高知へのレクでは定員を上回った。サークル活動には高知のため参加者減の傾向がある。サークル活動に夜に行事から昼の行事に変化している。

川北昭子さん(高松)は「サークル活動の悩みなどを交流し、状況の共有化を促す」と発言。藤田豊氏(高松)は「役職名で『会計監査』は監事ではないのか。」と発言。

来賓紹介



香退連 田辺和司氏
情報労連 明石晶博氏
NTT支店長 徳永久雄氏
NTTから保険 秀野 拓氏
小川淳也秘書 青木武史氏

私自身「ありがとう」を貰う側になり嬉しかった。高齢者の生活が変化し、会員の把握が十分できない状況にある。

久保法夫氏(中讃)は「配偶者会員制度をもっと活用してはどうか。」と発言。

森清隆氏(東讃)は「東讃地区のピアガーデンは高齢化のため参加者減の傾向がある。サークル活動に夜に行事から昼の行事に変化している。」

川北昭子さん(高松)は「サークル活動の悩みなどを交流し、状況の共有化を促す」と発言。藤田豊氏(高松)は「役職名で『会計監査』は監事ではないのか。」と発言。



植松信子さん(高松) 植松信子氏(高松) 三谷一孝氏(西讃) 三谷一孝氏(西讃) 安藤秀樹氏(西讃) 安藤秀樹氏(西讃) 久保法夫氏(中讃) 久保法夫氏(中讃) 川北昭子さん(高松) 川北昭子氏(高松) 河本光夫担当・河本光夫氏(高松) 河本光夫氏(高松) 吉田勉・会計監事 吉田勉氏(高松)

慶年のお知らせ

おめでとございます
(2023年10月~11月)

【米寿】10月 香西弘様・高松市 大久保昌行様・神戸市 山本敏明様・高松市 河田永年様・丸亀市 横山康仁様・丸亀市 山野正則様・善通寺市 大野秀樹様・まんのう町 仲益弘様・小豆島町 木村俊也様・東京都 生田豊次様・丸亀市

【喜寿】10月 山本裕子様・高松市 高橋修作様・土庄町

【古希】10月 小出健二様・観音寺市 松崎日出男様・高松市 近藤喬様・東かがわ市 千葉美恵子様・多度津町

会長あいさつ

要旨

この1年、会員の高齢化、年金の物価スライド制などもあり、前進的成果を旗印に、退職者の会が結成された当時の原点に立ち返ることが重要。第2点はNTEを取り巻く状況のなかでも「NTE株を売却し、防衛費に充てる」ことは、決定的な約束から2点について所信を述べたい。

第1点は、狂乱する物価の高、社会保障の見直しに伴う負担増など生活の厳しさを痛感。選挙目的の減税の先には更なる増税は必ずあり、新たな51年をスタートする。50年前、生活防衛とする決意を噛みたい。

認め。決算報告と予算案、会計監査報告も含め、全ての議案を承認し議事を終了しました。(久保池 薫・記)

お悔やみ申し上げます
(2023年8月)

8月 山崎 重幸様 90 東かがわ市 島津 照子様 92 丸亀市 池田 治豊様 93 高松市 森 博子様 88 高松市 村尾 康子様 80 さぬき市 島津 達雄様 91 丸亀市 安藤 俊子様 84 三豊市 谷本 智様 84 坂出市